

今年の見学会は「止めどない灼熱の真っ赤な帯が巨大なロールケーキになるまで、そして東京湾の地グルメ」と名付けて、千葉市にある JFE スチール千葉製鉄所の NO.3 熱間圧延ライン、通称 3HOT を 9 月 18 日（金）に訪ねました。今回は朝からの雨天にもかかわらず、学生 10 名を含む 39 名の方々に参加いただき、朝 7 時 45 分東京駅前からバスで出発しました。

3HOT は世界初のエンドレス熱間圧延設備で、JFE スチールの東工大 OB の方々にアテンドしていただきました。まず北野専務から歓迎の挨拶をいただき、和田室長以下 OB の方々に丁寧に工場案内していただきました。1200℃以上に加熱された厚さ 200 mm 以上のスラブが圧延機群に次々に 1 mm 近くまで圧延され、時速 100 km で巻き取られる迫力にはおおいに感動しました。当初予定していなかった製鋼工場を案内していただき転炉に溶銑が注がれているところを幸運にも見ることもできました。今回は 80 歳代の方が 7 名も参加され高いところまである階段を元気に昇降されていました。また移動中のバスの中や見学終わってからの見学センターでの質疑応答が時間一杯まで活発になされ、さすが東工大機械系の見学会でした。

お昼前に南へ下り保田漁港の海鮮料理「ばんや」でとれたてのおいしい海鮮丼、すし、天ぷらなどを 5 チームに分かれ和気藹々と会話しながら堪能しました。

次に千葉市内に戻り千葉市立美術館で絵画を鑑賞しました。ここは元川崎銀行があった石造りの雰囲気のある建物でした。ちょうど大坂で活躍した絵師の「唐絵もん」展が開催中で江戸絵画を鑑賞しました。バス移動中は参加者の自己紹介をしていただき、OB は経験談に花を咲かせ、学生は研究テーマなどを話してもらい東京駅に戻るまで活発で有意義な見学会でした。

以上



（写真は JFE スチール見学センターで撮影したものです）